



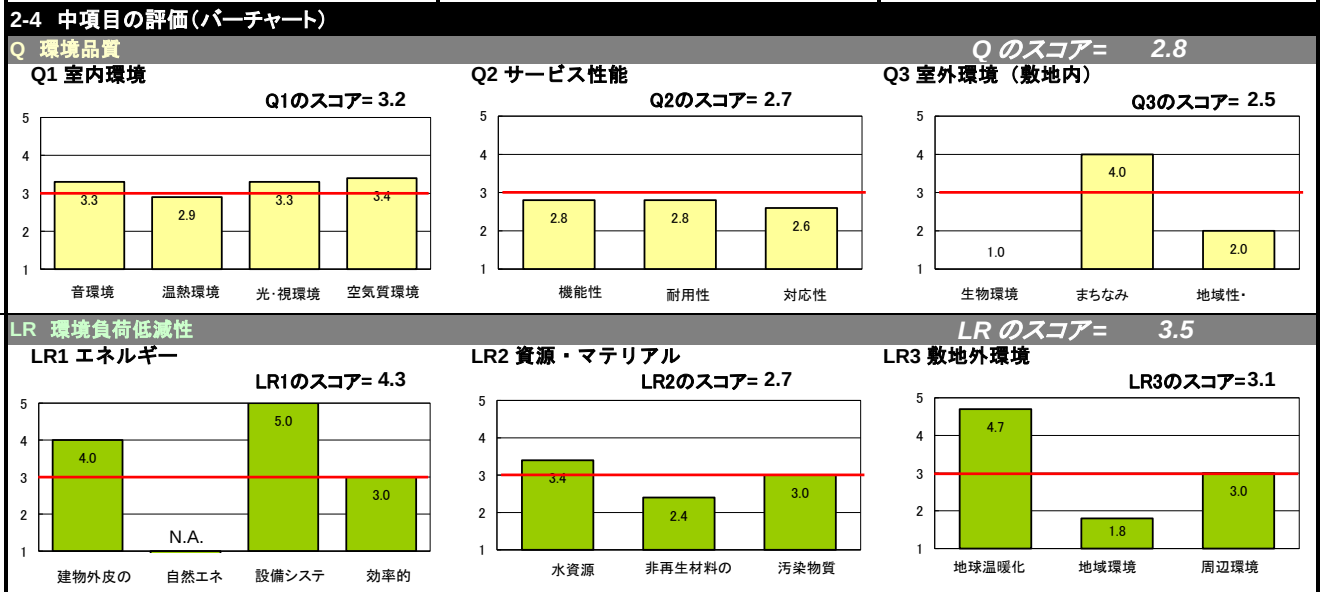
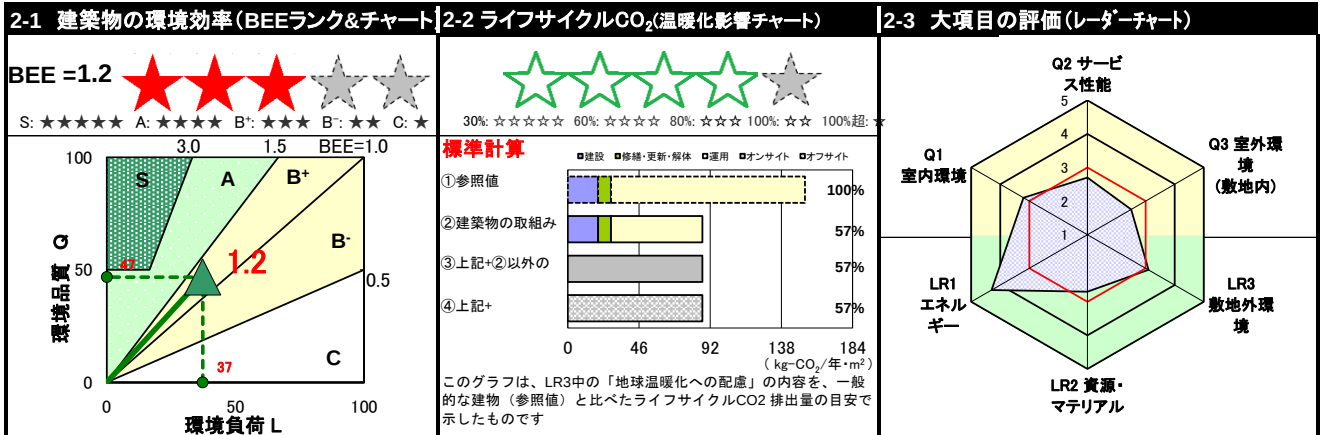
■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

(使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0))

| 評価結果 |

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)広島市中区鶴見町新築工事	階数	地上12F	
建設地	広島県広島市中区鶴見町10-7	構造	RC造	
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	117 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2024年8月8日	
敷地面積	390 m ²	作成者	山本 育実	
建築面積	232 m ²	確認日	2024年8月8日	
延床面積	2,329 m ²	確認者	山本 育実	

外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 3.2		
「地球温暖化対策」の推進 スコア= 3.8	「ヒートアイランド対策」の推進 スコア= 1.1	「長寿命化対策」の推進 スコア= 3.0
設計の計画上位段に配慮した事項 断熱性能及び省エネエネルギー性の高い複層ガラスを設置 / LED照明の採用 / 節水器具の設置 / ライフサイクルCO ₂ 排出量の削減	設計の計画上位段に配慮した事項 /	設計の計画上位段に配慮した事項 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される